

男と女のなかよしカルタ

当推進委員会では、今年度当初から「カルタ」制作に取り掛かりました。

なんとなく気づかないうちに性差別的（性別役割分担意識等）な言動や行動をしてしまう方が少なくないという思いから、性別にとらわれず子育てや家事を分担し、男女が手を携えて生きていくことの大切さや魅力を、遊びながら気づいてもらえるよう、カルタを制作することにしました。

当推進委員会では、3年前から男女共同参画についての川柳を募集し、発表してきました。「あ」～「ん」で始まる川柳を厳選し、不足する文字については、推進委員で創作しました。読み札は、イクメン・いくじいの事や、よくある夫婦の会話・行動を読んであるもの、心温まるもの、差別意識改革、今どきの働き方の事など多方面にわたっており、「男と女のなかよしカルタ」と題しました。カルタは読み札・絵札とも、カードサイズ・A4判の2種類4組を制作し、制作の様子は、新聞にも掲載されました。

このカルタは、7月15日に市大島社会福祉センターで開かれた、射水市内の子育てに関わる15団体で開催している「子育てフェスティバル in いみず」で初めてお披露目しました。また、射水市内各地区コミュニティセンターで開催される文化祭等で展示したり、実際に遊んだりしてもらいました。

この「男と女のなかよしカルタ」を地域サロンや児童クラブなどの団体に貸し出し、年齢を問わず色々な団体や様々な人々に遊んでもらうことで、楽しく性別役割分担意識のない男女共同参画社会推進への理解を深めていただきたいと思います。

(M. Y)



活動日誌

7月8日◎ ……………● お父さん（おじいちゃん）とこどものサンドイッチ作り

食改の小松さん指導の下で、トマト、キャベツ、レタス、ハム、卵、チーズ、ツナ等 10 種類の具材を、参加者一人ひとりが食パンの上に乗せて、ワイワイガヤガヤ、楽しく作り上げました。

具材が馴染む間は、絵本の読み聞かせ。森田さんのときは、こども達は感心し、真剣に聞いていました。前手さんのときは、一緒に大きな声で読み、一言ひとことに笑い転げていました。

自分で作ったサンドイッチは、こども達みずから切り分けてお皿に盛り付け、「いただきます」の言葉で食べました。自分で作ったから、スーパーやコンビニで買ったものよりおいしい、うまい声が連発で、楽しいひとときを過ごしました。



(M. M)

9月28日◎・29日◎ ……………● おおしまファミリー元気事業



「男女共同参画社会を構築し、また、地域住民相互の親睦を図り活力ある街にしよう」というコンセプトを基におおしまファミリー元気事業の一環として、劇団「殿様ランチ」公演を開催しました。

2度目の地方公演ということでしたが、劇団員の緊張感はやはり隠しきれませんでした。会場は老若男女の方で満席。観客の皆さんの興味津々な様子が伝わりました。地元方言が飛び交う場面は、大爆笑！和やかな雰囲気の中、幕は下りました。

ホッとした顔や、優しい笑顔にあふれた会場は、いつまでも楽しい余韻に包まれていました。 (S. M)

11月17日◎ ……………● 男性の料理教室

黒河コミュニティセンターにて、ヘルスマイトのサポートを得て開催しました。テーマは「健康で長生きするための楽飯作りと蕎麦打ち体験」。

ポリ袋に材料と調味料を入れ、袋の口を縛り湯せんするだけ。こんな簡単におかずができるなら、自分にもできそうだと自信を持ってもらえました。また、災害時にも役立つ調理法とあって大変好評でした。蕎麦打ちは、講師の手さばきを見逃すまいと真剣ながら、終始和やかな体験となりました。自分で作った料理は勿論格別で美味しく味わいました。これを機に、男性も料理に関心を持ち、しっかり食べて健康に暮らしてもらえたらなと思いました。 (H. C)



握り寿司・魚のさばき方教室 ●..... 11月18日◎

新湊コミュニティセンターで、「握り寿司・魚のさばき方教室」を開催しました。

男性の参加者が、ふくらぎの三枚おろしに挑戦しました。慣れない手つきながらも、講師の方に包丁の入れ方を教えてもらって、きれいにさばくことができました。

さばいた魚等のネタで握り寿司を作りました。中にはすし飯を豪快に握っている男性もいました。細巻きを切って盛付けし、「上握り？」の完成です。ふくらぎのアラの味噌汁とともに皆で美味しくいただきました。

これを機会に、男性も家事に参加すればいいなと思いました。



(N. S)

シンガー英樹コンサート ●..... 11月24日◎



フォークソング『シンガー英樹コンサート』を開催しました。詞の多くが、男性が女性目線から表現していると曲と曲の間のトークで話され、参加者も「あ、そうだな」と各自感じるものがありました。ある曲を聴きながら涙している方もあり、思い出される事があったようです。

アンコールもあり、たくさんのフォークソングを聴き、口ずさみ、懐かしく感じ楽しい時間を過ごしました。

(S. S)

あったか家族のひなまつり ●..... 3月3日◎

櫛田コミュニティセンターにて「桜もち作り」を開催し、16家族41名が参加しました。薄力粉と上新粉を混ぜたものをホットプレートの上に乗せて、7センチくらいに伸ばした皮を焼き、お話ししながら丸めたあんこを皮と桜の葉で包みましたが、子どもたちの器用さに周りの大人もびっくりされたようです。家族で「美味しそうやね」と頷きあう微笑ましい姿が見られました。桜もちを抹茶でいただいた後、「美味しかったから家でも作ろう」と語り合う方がおられました。



お隣の方とおしゃべりの後は、『男と女のなかよしカルタ』大会の始まりです。カルタの中に自分の家庭に当てはまる札があったのが、隣の母親と大笑いの場面もありました。「桜もち作り」会食と「カルタ取り」など、家族で楽しいひなまつりを体験されたのではないのでしょうか。

(Y. K)

啓発活動



5月 凧まつり



6月 男女共同参画週間



12月 女性に対する暴力をなくす運動

研修会報告

5月8日 研修会・総会

平成30年5月8日、19時15分から研修会、その後総会を開催しました。

研修会では夏野市長を招き、「平成30年度射水市予算と男女共同参画の取組について」の演題で講演していただきました。人口減少の克服に向けて、引き続き若い世代の定着や子育てにおける不安、負担の軽減を図る予算編成ということでした。

男女共同参画については、「第2次射水市男女共同参画基本計画」の取組の一つとして、各種審議会等における女性委員の登用を促進するため、「射水市女性人材リスト」を作成し、委員選考に活用するとの話もありました。また、健康でいきいきと暮らせる環境整備として、父親の育児参加100%を目標とした取組があり、私たち参画委員も啓発活動に力を入れていきたいものです。



(S. M)

12月8日 「富富富」でおむすびの会

手のひらに塩をつけて、ごはんの粒を感じながら、やさしく、ふんわりとむすぶ…。

講師として浅野恭子さんをお招きし、東北のマザー・テレサと呼ばれた佐藤初女さんの「おむすびのむすび方」を教えていただきました。

食材を「物」と考えるのではなく「命」と捉えた時に、慈しむように、育むように調理することができる。「心をこめる」ほんの少しの思いやりが人の心を温かくする。素材を活かした手づくりおかずを講師が用意してくださり、一緒にいただきました。

愛のこもった「食」は参加者の心を満たし、笑顔をむすびました。



(N. H)

3月5日 DV 研修会

「DVと虐待～家庭内で起きる暴力～」の演題で、射水市子育て支援課母子・父子自立支援員沙魚川万紀子氏を講師に招き開催しました。

配偶者からの暴力、いわゆるDV（ドメスティックバイオレンス）は、家庭内で起こることが多いため、発見されにくく、被害が深刻化しやすいと言われています。

日頃、地域に根差した活動を行っている推進員には、地域の人たちにDVについて啓発を行うことや、被害で苦しんでいる人を早期に発見し、相談機関へつなぐことなどの役割が期待されています。DVは、犯罪となる行為も含む重大な人権侵害であり、たとえ配偶者やパートナーであっても、決して許されるものではありません。

DVにおける「暴力」は、相手を支配する手段として様々な形態が存在します。これらの形態の暴力は単独で起きることもありますが、多くは何種類かの暴力が重なって起こっています。富山県では約5人に1人がDV被害者です。DVは私たちの身近で起こっている問題です。



(S. K)

編集後記

今年度は、推進委員で「男と女のなかよしカルタ」を作成しました。イラスト・文章は、推進委員の各自が思いを込めて考えたものです。少しでも男女共同参画についての理解や意識改革につながるよう、各地域での活用をすすめていくことができればよいと思います。

(S. S)